



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 児玉化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4222 URL <https://www.kodama-chemical.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 北村 以知雄
問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長（氏名） 杉崎 浩一（TEL）050(3645)0121
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,780	5.9	34	△11.9	△5	—	△128	—
2024年3月期中間期	7,350	△4.8	39	△72.4	△64	△166.6	△190	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 82百万円（△45.9%） 2024年3月期中間期 153百万円（△42.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△19.00	—
2024年3月期中間期	△26.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	14,250	5,232	27.6
2024年3月期	14,602	5,240	27.7

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 3,938百万円 2024年3月期 4,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注2）上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,400	4.8	460	178.1	320	1,216.3	200	—	25.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	7,859,191株	2024年3月期	7,859,191株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	63,972株	2024年3月期	63,809株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	7,795,306株	2024年3月期中間期	7,789,389株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（参考）種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

（A種優先株式）

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	5.12	5.12
2025年3月期	—	—			
2025年3月期（予想）			—	5.12	5.12

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結会計期間	5
中間連結包括利益計算書	6
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループを取巻く経済環境は、世界的なインフレや金利上昇、為替変動、持続的な資源・エネルギー価格の上昇及び長期化する地政学リスクの顕在化など、当社事業を取巻く国内外の市場は、依然として先行きが不透明なまま推移しております。

当社グループのセグメント毎の状況については、以下のとおりですが、国内の自動車事業で新型モデルの量産が開始される一方、自動車業界における認証不正問題などによる生産活動への影響もありましたが、国内自動車部門が増収となりました。リビングスペース事業、アドバンスド&エッセンシャル事業は厳しい市況のなか、対前年度から減収となりました。

こうした厳しい経営環境のなかではありますが、昨年6月に取引先金融機関の皆様の同意による事業再生計画期間終了後も継続してコスト削減を進め、財務体質の健全化による経営基盤の安定化に努めてまいりました。

この様な状況のなか、当中間連結会計期間における売上高は7,780百万円(前年同期比5.8%増)と増収となり、営業利益は34百万円(前年同期比11.9%減)、経常損失は5百万円(前年同期間は経常損失64百万円)、税金等調整前純損失は5百万円(前年同期間は税金等調整前純損失64百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は128百万円(前年同期間は親会社株主に帰属する中間純損失190百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① モビリティ事業

当事業の国内自動車部門におきましては、乗用車向けにメイン車種のモデルチェンジ製品の生産台数が伸長し、販売増加となりました。海外自動車部門におきましては、市況の回復が遅れていることにより、タイのECHOAUTOPARTS(THAILAND) CO., LTD. では、現地通貨ベースで前年同期比で販売減少となりましたが、為替影響により日本円換算では増加となりました。

この結果、売上高は5,441百万円(前年同期比14.0%増)、セグメント利益は115百万円(前年同期比20.8%増)となりました。

② リビングスペース事業

当事業の国内住宅設備部門におきましては、住宅用資材の高騰、得意先の市場における価格是正などの影響が続き、住宅向け需要が全般的に低調となりました。その影響により、洗面化粧台を中心に販売減少となりました。オフィス用空調部品におきましては新規受注の需要があり、販売増加となりました。海外冷機部品部門におきましては、タイのTHAI KODAMA CO., LTD.、ベトナムのTHAI KODAMA(VIETNAM) CO., LTD.とも、需要が低調に推移したことなどにより販売減少となりました。一方で、収益性に関しては、各費用の価格反映が進んだことと、品質向上の取組みにより改善しました。

この結果、売上高は2,091百万円(前年同期比8.2%減)、セグメント利益は234百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

③ アドバンスド&エッセンシャル事業

当事業におきましては、ゲームソフト用パッケージ事業は第1四半期から引き続き需要減となり、販売減少となりました。また、新複合材製品事業においても、一部、量産延期があり販売減少となりました。収益性に関しては、対象製品の収益性は維持しているものの、当期内の内外製比率変更による、一過性の影響により、前年同四半期比で減少しました。

この結果、売上高は247百万円(前年同期比17.4%減)、セグメント利益は2百万円(前年同期比96.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は14,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ351百万円の減少となりました。資産では、流動資産において原材料及び貯蔵品が167百万円、商品及び製品が84百万円減少いたしました。また、固定資産において株価減少により投資有価証券が31百万円減少いたしました。

負債では、借入金の返済で274百万円減少しました。

純資産では、親会社株主に帰属する中間純損失128百万円の計上により利益剰余金が減少するも、為替換算調整勘定が115百万円増加し、非支配株主持分が96百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月15日に公表した予想数値を据え置きます。今後、修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,799,335	1,586,202
受取手形及び売掛金	2,591,955	2,759,022
商品及び製品	394,907	310,134
仕掛品	182,968	192,315
原材料及び貯蔵品	843,367	676,225
その他	99,176	129,552
貸倒引当金	△12,591	△13,264
流動資産合計	5,899,119	5,640,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,356,156	6,519,204
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,487,312	△4,635,861
建物及び構築物(純額)	1,868,844	1,883,342
機械装置及び運搬具	9,602,840	9,861,613
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,279,182	△8,625,226
機械装置及び運搬具(純額)	1,323,658	1,236,387
土地	3,081,832	3,125,773
リース資産	1,410,190	1,441,649
減価償却累計額	△496,203	△701,734
リース資産(純額)	913,986	739,914
建設仮勘定	439,618	333,707
その他	3,558,132	4,005,939
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,205,031	△3,395,351
その他(純額)	353,100	610,588
有形固定資産合計	7,981,040	7,929,713
無形固定資産		
その他	80,017	68,629
無形固定資産合計	80,017	68,629
投資その他の資産		
投資有価証券	583,246	551,831
固定化営業債権	18,990	18,990
繰延税金資産	17,806	18,884
その他	76,250	76,305
貸倒引当金	△54,150	△54,150
投資その他の資産合計	642,143	611,861
固定資産合計	8,703,202	8,610,205
資産合計	14,602,322	14,250,394

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,602,100	1,702,683
電子記録債務	917,688	900,926
短期借入金	1,921,050	3,589,100
リース債務	366,112	364,377
未払法人税等	37,147	32,498
前受金	695,000	718,211
賞与引当金	48,901	148,790
訴訟損失引当金	15,442	16,302
その他	904,730	786,911
流動負債合計	6,508,172	8,259,801
固定負債		
長期借入金	1,942,500	—
リース債務	447,481	271,977
繰延税金負債	196,771	194,403
株式給付引当金	31,299	23,093
退職給付に係る負債	204,571	215,835
その他	31,512	52,977
固定負債合計	2,854,136	758,288
負債合計	9,362,309	9,018,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,254,948	2,254,948
利益剰余金	1,093,820	925,696
自己株式	△52,881	△52,929
株主資本合計	3,395,887	3,227,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234,918	214,369
為替換算調整勘定	288,358	403,370
退職給付に係る調整累計額	123,290	93,095
その他の包括利益累計額合計	646,567	710,836
非支配株主持分	1,197,557	1,293,752
純資産合計	5,240,013	5,232,304
負債純資産合計	14,602,322	14,250,394

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	7,350,248	7,780,168
売上原価	6,318,969	6,653,229
売上総利益	1,031,279	1,126,938
販売費及び一般管理費	992,181	1,092,500
営業利益	39,098	34,438
営業外収益		
受取利息	7,527	9,537
受取配当金	6,055	7,665
受取補償金	16,003	—
固定資産売却益	—	7,041
その他	15,099	7,092
営業外収益合計	44,686	31,336
営業外費用		
支払利息	33,235	48,253
支払手数料	82,754	12,415
為替差損	13,700	6,832
その他	18,962	3,606
営業外費用合計	148,652	71,107
経常損失(△)	△64,867	△5,333
税金等調整前中間純損失(△)	△64,867	△5,333
法人税、住民税及び事業税	54,418	51,995
法人税等調整額	10,535	8,596
法人税等合計	64,954	60,592
中間純損失(△)	△129,821	△65,925
非支配株主に帰属する中間純利益	60,179	62,198
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△190,000	△128,123

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△129,821	△65,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,680	△20,548
為替換算調整勘定	187,050	200,107
退職給付に係る調整額	1,295	△30,749
その他の包括利益合計	283,027	148,809
中間包括利益	153,205	82,883
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	17,106	△63,778
非支配株主に係る中間包括利益	136,098	146,661

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△64,867	△5,333
減価償却費	317,189	548,014
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	—
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△6,364	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	74,794	97,049
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△24,275	△36,094
その他の引当金の増減額(△は減少)	2,933	△8,205
受取利息及び受取配当金	△13,583	△17,202
支払利息	33,235	48,253
固定資産除売却損益(△は益)	△612	△6,432
売上債権の増減額(△は増加)	159,143	△123,512
棚卸資産の増減額(△は増加)	△50,459	277,399
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,537	43,435
前受金の増減額(△は減少)	207,699	23,210
その他	166,352	△4,477
小計	698,636	836,107
利息及び配当金の受取額	13,583	17,202
利息の支払額	△32,900	△49,170
法人税等の支払額	△59,343	△58,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	619,976	745,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△277,672
有形固定資産の取得による支出	△926,218	△502,674
有形固定資産の売却による収入	671	7,041
無形固定資産の取得による支出	△7,085	△191
その他	4,841	2,954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△927,791	△770,541
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,800,070	△105,475
長期借入れによる収入	2,590,000	—
長期借入金の返済による支出	△682,447	△185,000
自己株式の取得による支出	△126	△47
配当金の支払額	△40,000	△40,000
非支配株主への配当金の支払額	△45,099	△50,437
リース債務の返済による支出	△22,101	△169,096
セール・アンド・リースバックによる収入	86,690	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	86,844	△550,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,856	42,164
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△171,113	△532,518
現金及び現金同等物の期首残高	1,317,460	1,530,373
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,146,346	997,855

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月12日 取締役会	A種優先株式	40,000	5.12	2023年3月31日	2023年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月15日 取締役会	A種優先株式	40,000	5.12	2024年3月31日	2024年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

当社は、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当中間連結会計期間より費用処理年数を7年から6年に変更しております。

尚、この変更による当中間連結会計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	モビリティ事業	リビングスペース事業	アドバンスド&エッセンシャル事業	
売上高				
日本	2,405,295	1,342,513	299,328	4,047,137
東南アジア	2,366,625	936,485	—	3,303,111
顧客との契約から生じる収益	4,771,921	2,278,998	299,328	7,350,248
外部顧客への売上高	4,771,921	2,278,998	299,328	7,350,248
セグメント間の内部売上高又は振替高	85,509	143,570	—	229,079
計	4,857,430	2,422,568	299,328	7,579,328
セグメント利益	95,807	221,568	55,797	373,173

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,173
セグメント間取引消去	△132,188
全社費用(注)	△306,865
未実現損益調整額	493
その他の調整額	518
中間連結損益計算書の税金等調整前中間純利損失(△)	△64,867

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	モビリティ事業	リビングスペース事業	アドバンスド&エッセンシャル事業	
売上高				
日本	3,063,321	1,264,445	247,169	4,574,936
東南アジア	2,378,450	826,781	—	3,205,231
顧客との契約から生じる収益	5,441,771	2,091,226	247,169	7,780,168
外部顧客への売上高	5,441,771	2,091,226	247,169	7,780,168
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,945	149,606	—	160,552
計	5,452,717	2,240,833	247,169	7,490,720
セグメント利益	115,769	234,188	2,185	352,144

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	352,144
セグメント間取引消去	△116,765
全社費用(注)	△241,235
未実現損益調整額	493
その他の調整額	29
中間連結損益計算書の税金等調整前中間純損失	△5,333

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。